

令和2年度(2020年度)公共事業再評価調書

基準年月日 令和2年8月1日

調書番号	08-22	所管部	建設部	作成責任者	建設部まちづくり局都市環境課長 沼上 仁										
				担当係	街路計画係(内) 29-569										
基本事項(基準日時点)															
事業種別	都市計画街路事業費(社会資本整備総合交付金)			地区名	3・4・111 基線通										
				市町村名	恵庭市										
事業費	3,852 百万円	負担割合	国 60% 道 40%	市町村	その他										
			2,311 百万円	百万円	百万円										
事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な道路幅員での整備により、冬期における安全で快適な道路交通の確保を図る ●両側歩道の整備により、通学路としての利便性、安全性が向上する ●既設橋の老朽化・耐震化・大型車走行対策のため、橋梁の架け替えを行う ●適切な道路幅員での整備により、避難路としての機能性が向上する ●恵庭テクノパークや戸磯工業団地から石狩湾新港への物流の効率化を図る 		事業概要 基線通は、恵庭市恵南と同市上山口(恵庭バイパス)を連絡する延長約2.5kmの幹線道路であるが、JR千歳線と立体交差する橋梁を含む約0.6km区間が未整備となっている。(片側歩道、冬期における堆雪幅の不足) 両側歩道の設置および適切な道路幅員を確保するため、橋梁の架け替えを含む拡幅事業を実施するものである。												
	【アウトカム】等		工事費内訳 【計画】 L=0.59km W=20.0m(一般部)、36.3m(立体交差部) 構造物 橋梁N=1橋(L=62m)、 擁壁N=4(L=100m,L=114m,L=96m,L=130m) 道路工 用地補償費 A=2,155㎡、N=23件 測量設計費 1式		(百万円) 変更前 2,765 220 167 120 計 3,272	(百万円) 変更後 3,165 307 200 180 計 3,852									
総合計画での位置付け	施策名	道路交通ネットワークの形成			総合計画:大項目	人・地域									
	総合計画:中項目	持続可能な社会・経済を支える社会資本の整備			総合計画:小項目	連携と交流を支える総合的な交通ネットワークの形成									
	施策目標	道路網や都市内交通環境の充実など、住民の暮らしに欠かせない地域交通の安定的な確保を図る			関連する指標	-									
II 公共事業評価経過															
事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)					
	事前評価又は当初	H26(2014)	H26(2014)	H31(2019)		経過年数	3,272	1,963							
	前回評価														
	今回評価	H27(2015)	H28(2016)	R2(2020)		R7(2025)	5	3,852	2,311	400	889	23%			
変更理由・内容	道路示方書の改訂による構造物修正設計、側道とのアクセス道路追加による本工事費及び用地補償費の変更。 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更。 関係機関協議に時間を要したため事業着手が1年遅延、鉄道協議において軌道近接箇所の作業時間が限定されることを踏まえ工期を延伸。														
III 事業採択前の状況															
1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> ●都市計画上の骨格道路である幹線道路に位置づけられており、優先性が高い。 ●JR跨線橋は、昭和42年の供用開始から45年が経過し老朽化が進んでいる。また、地震時に落橋を防止する装置が設置されていないため、損壊等によりJR千歳線に影響を与えることが危惧される状況であるため、架け替えの緊急性が高い。 														
2. 事業検討の手續(住民への把握等)	<ul style="list-style-type: none"> ●H21.5和光小学校教育環境整備検討会議設立 ●H22.2和光小学校教育環境整備検討会議より方針提出 ●H22.2地元住民組織から要望書提出 ●H23.12市議会から要望書提出 ●H23.12市議会から要望書提出 ●H24以降毎年恵庭市より社会資本要望あり 														
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ●両側歩道の整備により、通学路としての利便性、安全性の向上 ●道央圏連絡道路へのアクセス強化 ●恵庭市の幹線道路網の形成 ●市街地の分断の解消や、避難路としての機能性の向上 														
4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容										
IV 事業の実施状況															
1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画														
	施工(工種)区分	工事内容	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6	7	進捗状況	事業費(百万円)
	道路工	L=0.6km W=20m												0%	307
	構造物	橋梁N=1 擁壁N=4												17%	3,165
	用地補償費	用地買収、物件補償												97%	200
	測量設計費	測量調査・実施設計等												94%	180
															3,852
	(2) 進捗状況														
	JR協議、用地補償に時間を要していたが、既に本工事に着手しており、今後は概ね計画どおり進捗する予定である。														
	b	a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画(期間)等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。													
2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)				費用の内訳(百万円)				B/C	備考					
	項目	R2現在	項目	R2現在	R2現在				・「費用便益分析マニュアル(国土交通省H30年)」に基づき算出 ・便益、費用ともにR2年に現在価値化 ・費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。						
	走行時間短縮便益	3,628	事業費	3,603											
	走行経費減少便益	200	維持管理費	12											
	交通事故減少便益	27													
合計(B)	3,856	合計(C)	3,615	1.07											
	事前評価年度: H24 事前評価時B/C: 1.23 変更理由: 道路工、構造物、用地補償費、測量設計費の変更により事業費が増加したため。														
3. コスト削減などの取組	取組の項目	取組の内容								縮減額(百万円)					
	資源循環の促進	再生アスファルト合材を使用することによるコスト削減								11					

V 評価						
1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ●平成23年 恵庭市都市計画マスタープラン策定・千歳恵庭圏都市計画区域（都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更）決定 ●事業着手後も、市街地の分断や、安全な歩行空間の確保など、整備の必要性に変化はない。 					
	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。				
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題					
	<ul style="list-style-type: none"> ●JR敷地内での作業は深夜となり、住宅地での工事となるので、騒音・振動に配慮した施工を進めている。 					
	(2) 事業推進に対する住民の動向					
<ul style="list-style-type: none"> ●毎年、恵庭市や石狩地方開発促進期成会から整備促進の要望を受けている。 						
(3) その他の課題						
なし						
3. 事業達成の見込み	関係事業者協議・用地補償に時間を要していたが、既に本工事に着手しており、今後は概ね計画どおり進捗する予定である。					
	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。				
4. 対処方針	事業の必要性に変化は無く、地元住民・自治体からの早期完成要望が強く、事業達成が十分に見込まれることから、事業継続する。					
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止				
	事業期間の変更の有無	有	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無 左記以外の変更 無
VI 備考						
1. 評価履歴	事前評価：平成24年度実施 評価結果：要望を行うことは妥当 B/C：1.23					
2. その他の取組事項						

補足資料

VII 事業計画変更										
事業期間	再評価 又は当初	事業採択	着手	変更年度	完了予定	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事業期間	事前評価又は当初	H26 (2014)	H26 (2014)		H31 (2019)	3,272	1,963			
	変更①	H27 (2015)	H28 (2016)	H27 (2015)	H32 (2020)	3,272	1,963			
	変更②	1回目	H28 (2016)	H28 (2016)	R2 (2020)	3,852	2,311	400	889	23%
	変更③									
	変更④									
	変更⑤									
	変更⑥									
	変更⑦									
	変更⑧									
	変更⑨									
	変更⑩									
変更理由・内容		変更①：仮設歩道の設置や側道等、関係機関協議に時間を要し事業着手が遅延 変更②：道路示方書の改訂による構造物修正設計、側道とのアクセス道路追加※による本工事費及び用地補償費の変更。 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更。 事業着手の遅延及び鉄道協議において軌道近接箇所の日作業時間が限定されることを踏まえ、工事期間を延伸。 ※基線通と隣接する工業団地との新たなアクセスルートを確保するため、市道整備と連携しアクセス道路を整備する。 理由①：新設する側道及び既存市道を経由するアクセスを計画したが、団地内の事業者や地域住民から大型車の通行に懸念。 理由②：通学路という事情を勘案して、大型車交通と歩行者との錯綜を回避することにより、交通事故リスクの更なる抑制を図る。								

事業概要図

事業名	都市計画街路事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	3・4・111 基線通(恵庭市)
-----	----------------------------	-----	------------------

事業地区位置図

